

次世代経営研究会実施報告



「事業環境変化に向けた製造業DX（デジタルトランスフォーメーション）の課題と進化」 前半

事業部会経営委員会
次世代経営研究会運営委員会

1. はじめに

2024年6月13（木）に「次世代経営研究会第11回定例会」をリモートの形式で開催した。参加者は関係者を含めて32名であった。今回は名古屋国際工科専門職大学情報工学科教授、横幹連合DX調査研究会主査の山本修一郎氏をお招きして、「事業環境変化に向けた製造業DX（デジタルトランスフォーメーション）の課題と進化」の演題で講演いただいた。DXレポートによる2025年の崖問題や、生成AIの登場など、企業を取り巻く環境が大きく変化している。本講演では事業継続のために、ものづくり関連企業が取るべき環境変化への対応策について解説し、また、問題解決のためのDXの導入パターンならびに、常に変わり続けるための企業組織文化とDX人材のあり方、さらにDX疲れなど、DXの導入を推進する上での課題とその対応策についても明らかにし、それらの課題に対する総合的な議論を行った。

本号では基調講演とその討議の概要を紹介する。

2. 開会挨拶 品質工学会・会長 椿広計

第11回次世代経営研究会において、事業環境変化に向けた製造業DXの課題と進化について議論できること、大変嬉しく思う。横断型基幹科学技術研究団体連合（通称：横幹連合）についても、現在33学会が加盟している連合体であり、品質工学会もその一員として活動している。山本修一郎氏をはじめとする先生方とご意見を交換できる場として、

今日の研究会が非常に楽しみである。DXの本質についての議論も重要。山本氏は経済産業省のDXレポートに携わった方であり、その知見を共有していただけることは貴重な機会。事前準備のメーリングリストですでに熱い議論や繰り広げられており、本日のパネル討論も盛り上がることを期待する。連合と品質工学会の関係性がますます強まることを願い、限られた時間と人数の中で綿密な議論ができることを楽しみにしている。

3. 委員長挨拶 本研究会運営委員会・委員長 谷本勲

この1年はコロナ禍が終わったこともあり、いろいろな場所に出かけた。その中で、「ニューフロンティアフォーラム」という会合が印象的だった。自身が現役時代、「経営というのは夜の銀座で行われる」という表現があったが、価値観も課題も同じ自社組織内の人員だけで考えていても新しいものは出て来ず、企業や業界を超えた人脈が重要であると認識する。横幹連合と品質工学の関連についても興味深い。横幹連合は、各学会の話をまとめて、世の中のシステムやルールに適応する動きをしてくれる場として素晴らしい存在である。昨今の自動車業界における問題点は、システムの巨大化と複雑化が進んでいる中で、従来の評価方法では効率が悪くなっていることが要因であると理解している。品質工学はこれまで評価技術としての基盤を作り実績を上げてきたが、今後の国内産業には全体的な改革が必要。横幹連合と協力して議論を進めることで、新たな流